

徳島市中心市街地活性化推進本部資料

平成29年5月24日

市民環境部文化振興課

新たなホールの整備について

1 建設候補地検討の経緯

新たなホールの整備については、「文化センター敷地」、「徳島駅西側駐車場」、「旧動物園跡地」の3か所を建設候補地として選定し、各候補地についての諸条件やメリット・デメリット、課題等を整理し、次の条件により、具体的な検討を進めてきたところである。

- (1) 新ホールの基本理念「市民の芸術文化の創造拠点」としてふさわしい施設機能や交通アクセス、周辺への相乗効果が見込めること。
- (2) 徳島市内に1,000席規模のホールがない状況を踏まえ、平成35年度開館を目標とした整備スケジュールが実現可能であること。
- (3) 文化、経済など様々な分野における効果を踏まえ、財政的に過度の負担とならない計画が可能であること。

また、検討に際して、徳島市新ホール建設候補地検討会議を設置し、専門的な見地からの意見、評価を参考とした。

2 徳島市新ホール建設候補地検討会議の概要

- (1) 目的
新ホールの建設候補地の選定に際し、専門の見地からご意見等をいただくために設置するもの。
- (2) 委員名簿
4ページ参照
- (3) 開催状況

回	開催日	議題
第1回	平成29年 3月29日(水)	○新たなホールの基本方針等について ○建設候補地の概要について ○建設候補地の検討の視点について
第2回	平成29年 4月17日(月)	○建設候補地の検討について 土地条件、交通条件、整備期間
第3回	平成29年 4月24日(月)	○建設候補地の検討について 整備費用、周辺条件、施設条件
第4回	平成29年 5月11日(木)	○意見書(案)について
第5回	平成29年 5月17日(水)	○意見書の提出

(4) 主な意見内容

- ・ 徳島市まちづくり総合ビジョンの将来像「笑顔みちる水都とくしま」の実現に向けて、ホールが徳島市の「まち」「ひと」「もの」にもたらす様々な相乗効果を念頭に、県都徳島市のホールとしてふさわしい建設場所を選定すべきである。
- ・ ホールは誰もが気軽に来館し、芸術文化に親しむことのできる施設として、交通アクセスの利便性や集いのエリアとして周辺施設が充実していることは重要である。
- ・ 徳島駅西側駐車場は、新ホール整備と将来のまちづくりへの相乗効果として、多くの可能性を期待できる候補地であることから、候補地として選定した場合には、関係者との協議を早急に開始し、不確定要素である部分についての検討を進める必要がある。

(5) 意見書

別冊「徳島市新ホール建設候補地選定についての意見書」のとおり

3 建設候補地について（案）

(1) 各候補地の概要

5 ページ～7 ページ参照

(2) 総合評価

【文化センター敷地】

敷地に関する境界確定や土地利用の手続きが迅速に完了すれば、早期開館に向けた整備が可能となり、また、立地条件から「市民の芸術文化の創造拠点」としてのシンボル性を景観上演出できる等のメリットがある。

しかしながら、敷地の形状や面積上の制約のため、大ホールの舞台、客席、ホワイエなどの配置設計には建築上の課題がある。

事業費については、主要施設である創造支援ゾーンの地下配置、駐車場確保、JR徳島駅方面からのバリアフリー化対応等に係る費用増加が見込まれる。

【徳島駅西側駐車場】

当該候補地は、ホールの主要機能である大ホール、小ホール、創造支援ゾーンの配置が可能であり、また、市内・広域交通の拠点であるJR徳島駅ターミナルビルと隣接している場所であることから、市内外からの利用者の利便性は高く、ホールがその立地条件を活かした「市民の芸術文化の創造拠点」としての役割を果たすこと、さらには、周辺地域における文化施設や商業施設等との連携による相乗効果が期待できる。

ただし、事業費については、創造支援ゾーンの地下配置、駐車場確保等に係る費用に加え、用地関係費用が見込まれることから、土地所有者等との協議が必要である。

【旧動物園跡地】

「市民の芸術文化の創造拠点」としてふさわしい大ホール、小ホール、創造支援ゾーンの機能・規模や配置計画の自由度が高く、川辺空間や広い敷地を活かした整備が可能である。

ただし、事業費については、施設の建設費用以外に、駐車場や周辺道路の整備など周辺対策に係る費用が見込まれる。

なお、ホール整備には都市計画法上の手続きが必要であり、周辺地域には、住環境に直接的な影響を受ける市民が多く在住していることから、慎重な対応が必要である。

(3) 建設候補地の選定

各候補地における検討結果や検討会議の意見、評価を踏まえ、総合的に判断した結果、「徳島駅西側駐車場」を建設候補地として選定する。

【選定理由】

- ・ 新ホールの基本理念「市民の芸術文化の創造拠点」として、創造・交流・鑑賞の基本的機能を踏まえた施設計画が可能であること。
- ・ 市内及び広域交通ネットワークの中心である、JR徳島駅ターミナルビルと隣接しており、市内はもとより周辺地域からの交通アクセスの利便性が高く、子供から高齢者まで幅広い世代の方や移動手段を持たない方、公共交通を必要とされる方にとって、来館しやすい場所であること。
- ・ 公共交通機関の利用促進や周辺施設との連携による文化、経済など様々な分野への相乗効果が期待できること。

(4) 今後の取組

土地所有者をはじめ関係者との協議を早急に開始し、法規制等への課題対応、整備手法、事業費等についての検討を行い、平成30年3月を目途に基本構想案等をまとめる。

徳島市新ホール建設候補地検討会議委員名簿

(敬称略、50音順)

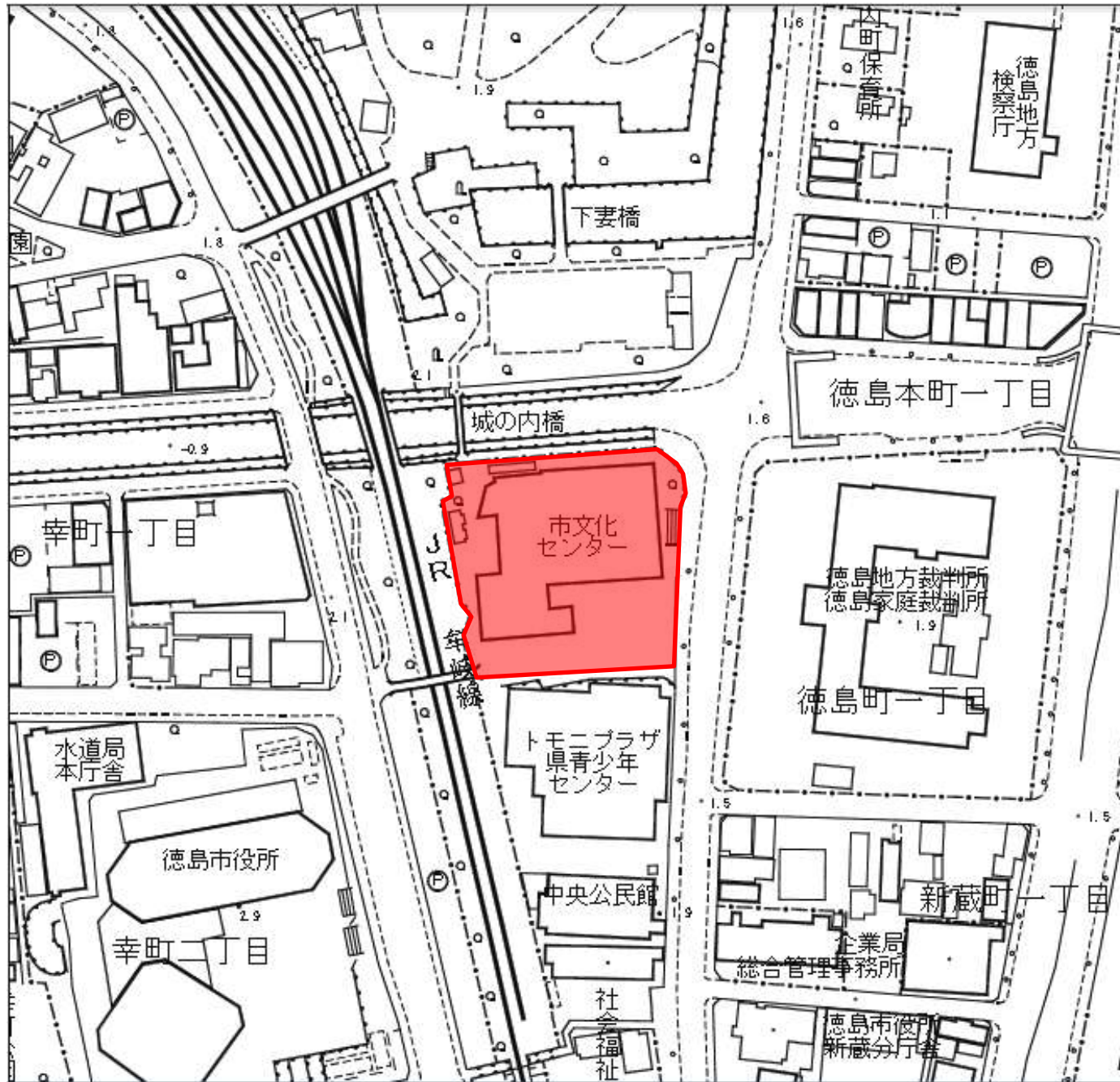
	所属団体・役職	氏 名
委 員	徳島交響楽団 専務理事	生 駒 元
委 員	一般社団法人徳島県建築士事務所協会 会長	小 西 誠 一
委 員	公益財団法人徳島県文化振興財団 理事長	佐 藤 勉
委 員	阿波女あきんど塾 キャスト	高 畑 富士子
○ 委 員	公益財団法人徳島経済研究所 専務理事	田 村 耕 一
委 員	徳島商工会議所 会頭	中 村 太 一
◎ 委 員	徳島大学理工学部 教授	山 中 英 生

注) ◎は委員長、○は副委員長

新ホール建設候補地の概要

徳島市立文化センター敷地

位置図



敷地の状況

住所 : 徳島町城内1番地
 面積 : 約4,538㎡

都市計画の状況 : 市街化区域 商業地域 防火地域
 都市計画施設 : 都市計画道路(敷地の北側の一部)
 建ぺい率/容積率 : 80%/400%

所有者 : 徳島市(約2,288㎡)、徳島県(約1,620㎡)、国(約630㎡)
 ※面積は登記簿上の面積である。

交通アクセス : 徳島駅から徒歩約10~15分。周辺に駐車施設が複数ある。
 市バスの停留所がある。

周辺環境等 : 県青少年センター、中央公民館、裁判所、中央公園、市役所、
 国道(192号)等

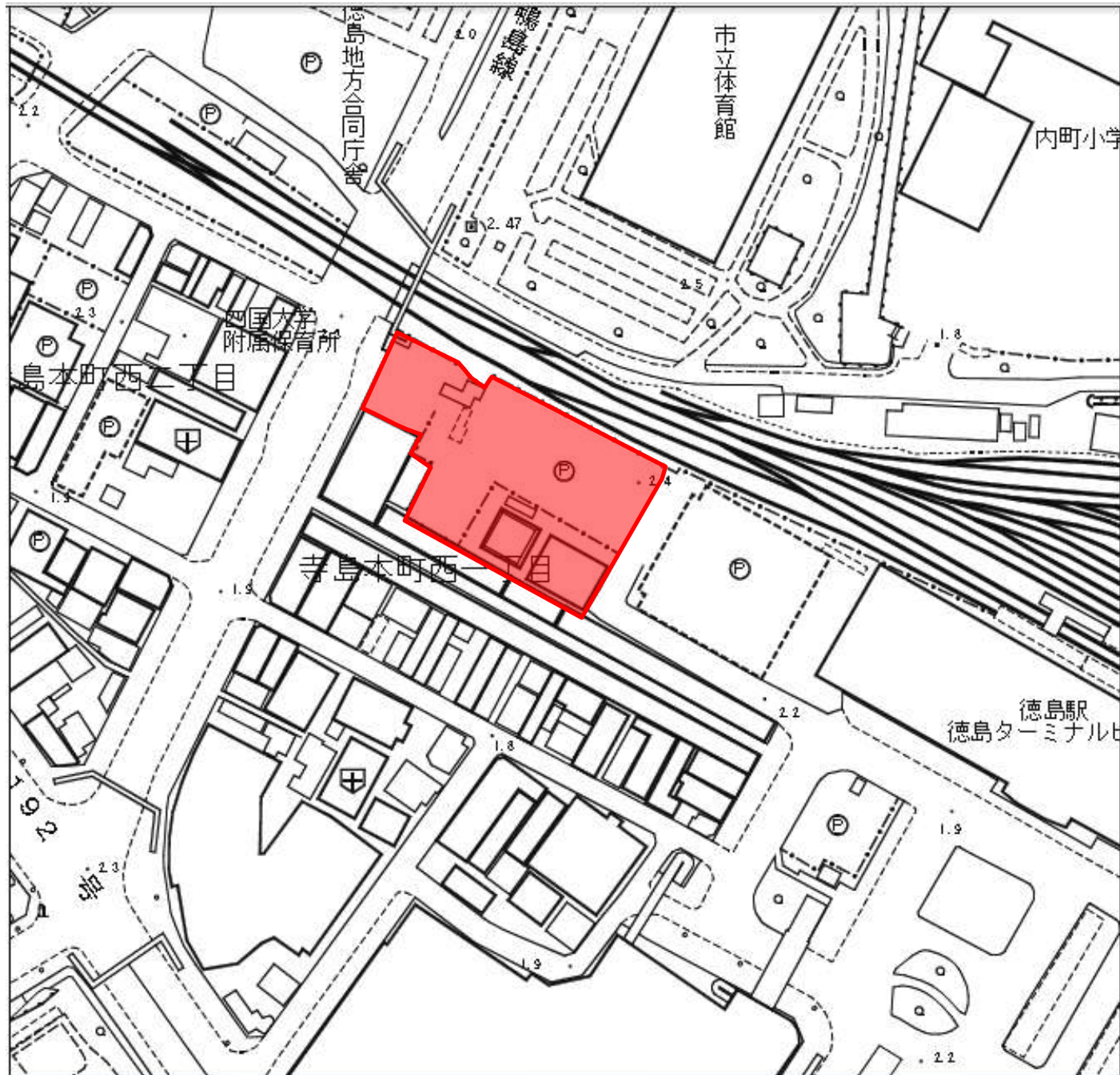
現況写真



※この地図は、徳島市長の承認を得て、1/2,500地形図を複製したものである。(承認番号 平28徳島市指令都政第96号)

徳島駅西側駐車場

位置図



敷地の状況

住所 : 寺島本町西1丁目
面積 : 約4,866㎡

都市計画の状況 : 市街化区域 商業地域 防火地域
都市計画施設 : 指定なし
建ぺい率/容積率 : 80%/600%

所有者 : JR四国 (約4,313㎡)、鳴門市 (約368㎡)、民有地 (約185㎡)
※面積は登記簿上の面積である。

交通アクセス : 徳島駅から徒歩約1～3分。周辺に駐車施設が多い。

周辺環境等 : JR徳島駅、バスターミナル、ホテル、商業施設、市立体育館、
県郷土文化会館、四国大学交流プラザ、県道(30号)等

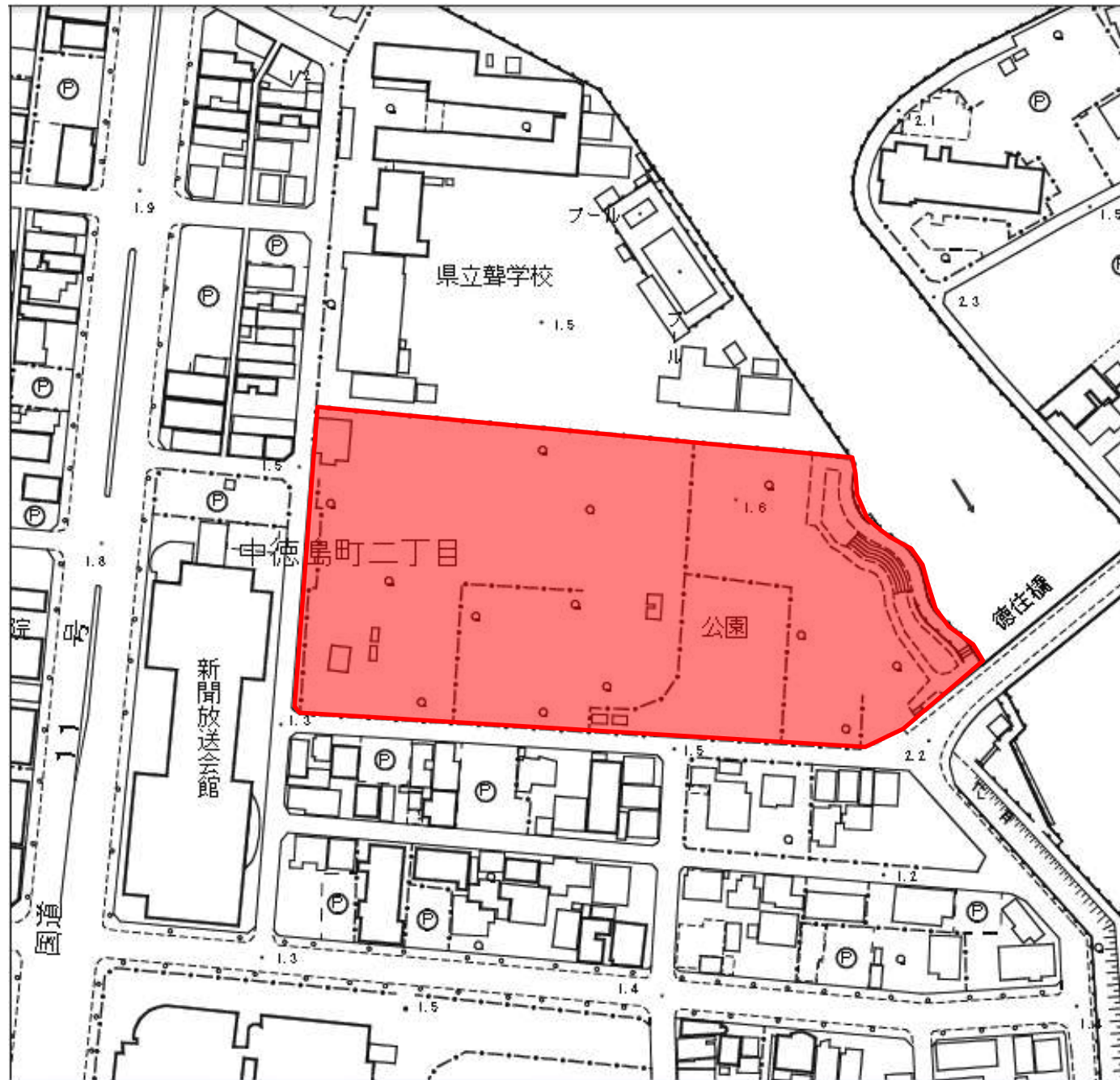
現況写真



※この地図は、徳島市長の承認を得て、1/2,500地形図を複製したものである。(承認番号 平28徳島市指令都政第96号)

旧動物園跡地

位置図



敷地の状況

住所 : 中徳島町2丁目
面積 : 約18,879㎡

都市計画の状況 : 市街化区域 第一種住居地域
都市計画施設 : 都市計画公園 (すべての敷地)
建ぺい率/容積率 : 60%/200%

所有者 : 徳島市 (約18,879㎡) ※面積は登記簿上の面積である。

交通アクセス : 徳島駅から徒歩約20～25分。周辺に駐車施設が少ない。
市バスの停留所がある。

周辺環境等 : 県立聾学校跡地、新聞放送会館、徳島大学、住宅、
国道(11号)、助任川等

現況写真



※この地図は、徳島市長の承認を得て、1/2,500地形図を複製したものである。(承認番号 平28徳島市指令都政第96号)